

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-73	小学校	社 会	社 会	5 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 504	小学社会 5年		

1. 編修の基本方針

本教科書は、発刊以来、一貫してたいせつに掲げてきた「人間尊重」の理念を基本に、社会と自分自身との関わりで主体的に考え、取り組んでいこうとする子どもたちの姿勢を重視し、支援してきました。その基本理念を本教科書でも引き継ぎ、さらに発展させました。

本教科書は、教育基本法第2条の教育の目標を達成し、上記の基本理念を実現するために、以下の三つを基本方針として編修にあたりました。

基本方針

1

自らの生き方を問い続ける子どもを育てます

～子どもたちが本気で学ぶ社会科の実現～



自分の力で

基本方針

2

みんなとともに考える子どもを育てます

～主体的・対話的で深い学びの実現～



みんなとともに

基本方針

3

未来社会をたくましく生きる子どもを育てます

～主権者として求められる資質や能力の育成～



たくましく生きる



本教科書は、上記の基本方針をより確実に実現するために、各学年ともに1巻(合本)構成としました。

1巻(合本)構成のメリット

1

見通し・振り返り活動を充実させることができます

学年を通しての学習の見通しをもつことで、学年を通じた振り返りの活動が可能となります。また、既習事項の振り返りが容易となり、分類・比較・関連等の思考を用いて捉えることが可能となります。

2

カリキュラムマネジメントへの柔軟な対応が可能となります

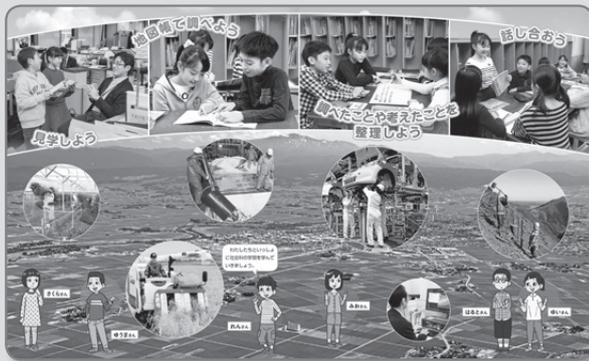
資質・能力の育成を保証する手だての一つとして、カリキュラムマネジメントをおこなうことが求められています。1巻(合本)構成にすることで、教科横断的な視点でのカリキュラムの編成がしやすくなります。

1巻(合本)構成とするにあたり、本文用紙には現行本よりも軽い再生紙を採用しました。

1 学びの見通しを子どもと先生が共有できる構成としました。

● ていねいでわかりやすい学年巻頭ページ

- ・巻頭にオリエンテーションページを設け、社会科の学び方と学習内容をわかりやすく示しました。
- ・5年生の社会科をスタートするにあたって、5年生の社会科の学習でたいせつなことをわかりやすく示しました。また、もくじページでは、各大単元の学習のねらいや内容がひと目でわかるようにするとともに、主事例と置き換えて学習ができる選択事例も明示しました。



(表2～p.1)

日本の国土のようすを調べ、国土の特色やそれらとわたしたちのくらしや産業との関わりを考えていきましょう。

1 日本の国土と人々のくらし	6
1 世界から見た日本	8
2 日本の地形や気候	18
3 さまざまな土地のくらし	28
【1】あたたかい沖縄県に住む人々のくらし	30
【2】寒い土地のくらし—北海道旭川市—(【1-3-1】のせんたく)	38
【3】寒い土地のくらし—群馬県蓮村—(【1-3-2】のせんたく)	46
【4】高地のくらし—群馬県蓮村—(【1-3-2】のせんたく)	56

(選択事例も明示されたもくじ)

(大単元の学習内容)

5年生の社会科の学習でたいせつなこと

(5年生の社会科の学習でたいせつなこと) (p.2)

5年生の社会科の学習でたいせつなこと

これからの社会科は、みんなの暮らしや地域の暮らし、そして自分たちの暮らしを大切にしたい。みんなの暮らしや地域の暮らし、そして自分たちの暮らしを大切にしたい。みんなの暮らしや地域の暮らし、そして自分たちの暮らしを大切にしたい。

もくじ

1 日本の国土と人々のくらし	6
1 世界から見た日本	8
2 日本の地形や気候	18
3 さまざまな土地のくらし	28
【1】あたたかい沖縄県に住む人々のくらし	30
【2】寒い土地のくらし—北海道旭川市—(【1-3-1】のせんたく)	38
【3】寒い土地のくらし—群馬県蓮村—(【1-3-2】のせんたく)	46
【4】高地のくらし—群馬県蓮村—(【1-3-2】のせんたく)	56
わたしたちの暮らしを支える食料生産	68
1 食料を支える食料生産	68
2 食料を支える食料生産	74
3 食料を支える食料生産	80
【1】食料を支える食料生産(【1-3-1】のせんたく)	104
【2】食料を支える食料生産(【1-3-2】のせんたく)	110
【3】食料を支える食料生産(【1-3-3】のせんたく)	116
【4】食料を支える食料生産(【1-3-4】のせんたく)	122
【1】食料を支える食料生産	132
1 食料を支える食料生産	132
2 食料を支える食料生産	138
3 食料を支える食料生産	144
【1】食料を支える食料生産(【1-3-1】のせんたく)	150
【2】食料を支える食料生産(【1-3-2】のせんたく)	156
【3】食料を支える食料生産(【1-3-3】のせんたく)	162
【4】食料を支える食料生産(【1-3-4】のせんたく)	168
【1】食料を支える食料生産	170
1 食料を支える食料生産	180
2 食料を支える食料生産	186
3 食料を支える食料生産	192
【1】食料を支える食料生産(【1-3-1】のせんたく)	204
【2】食料を支える食料生産(【1-3-2】のせんたく)	210
【3】食料を支える食料生産(【1-3-3】のせんたく)	216
【4】食料を支える食料生産(【1-3-4】のせんたく)	222
【1】食料を支える食料生産	230
1 食料を支える食料生産	236
2 食料を支える食料生産	242
3 食料を支える食料生産	248
【1】食料を支える食料生産(【1-3-1】のせんたく)	254
【2】食料を支える食料生産(【1-3-2】のせんたく)	260
【3】食料を支える食料生産(【1-3-3】のせんたく)	266
【4】食料を支える食料生産(【1-3-4】のせんたく)	272
【1】食料を支える食料生産	280
1 食料を支える食料生産	286
2 食料を支える食料生産	292
3 食料を支える食料生産	298

(p.2～p.3)

2 子どもと教材の魅力的な出会いができるように工夫しました。

● さまざまなタイプの教材を選定

- ・子どもの驚きや知りたいという知的好奇心を引き出し、疑問や素朴な問いへと導き、「自分事」として捉えさせるさまざまなタイプの教材を選定しました。

● 小単元：「水産業のさかんな地域」



(p.90～p.91)

典型的な事例としての単元

● 選択単元：「畜産業のさかんな宮崎県」



(p.104～p.105)

地域の実態に即して扱える選択単元

● 特設：「電力を地産地消する取り組み」



(p.278～p.279)

今日的な教育課題にも対応した特設ページ

1 どの子どもも主体的に学ぶ問題解決的な学習をめざしました。

(1)「わたし(たち)の問題」、「学習問題」、「さらに考えたい問題」の設定

・子ども一人一人が「わたし(たち)の問題」をもち、追究するなかでより問題意識を発展させていくようすがわかるようにしました。

わたし(たち)の問題
わたしたちが食べている食料は、どこの国から輸入しているのだろう。
見開きページでの素朴な疑問や問題

学習問題
日本は、どうして、大量の食料を輸入しているのだろう。
学級全体で話し合いたい問題

さらに考えたい問題
食料生産に関わる人たちは、食料生産をめぐる問題を解決するために、どのような取り組みをしているのだろう。
学習問題の解決後に出たさらに考えたい問題

問題解決的な追究活動
(p.116 ~ p.119)

さらに考えたい問題
(p.120 ~ p.121)

(2)「学習の計画」の設定

・学習の見通しをもつことができるよう、調べたいことや調べ方、まとめ方が書かれています。

学習の計画

●調べたいこと

- ・食料をどれくらい輸入しているのか。
- ・国内だけで足りている食料はあるのか。
- ・どうして外国産は、ねだんが安いのか。

●調べ方

- ・図書室の本やインターネットで調べる。

(p.115)

2 交流場面を随所に設定し、対話的で深い学びがおこなえるように工夫しました。

●さまざまな交流場面を設定

・追究していくなかで、個が集団と関わりながら問題を解決する具体的な場面を効果的に設定しています。

主な交流場面

- ①疑問から学習問題をつくる場面
- ②学習問題から予想する場面
- ③学習計画を立てる場面
- ④学習問題について自分の考えを発表し、これまでの学習を振り返る場面
- ⑤多角的な視点で話し合う場面



1 社会的重点課題に取り組むことができる教科書をめざしました。

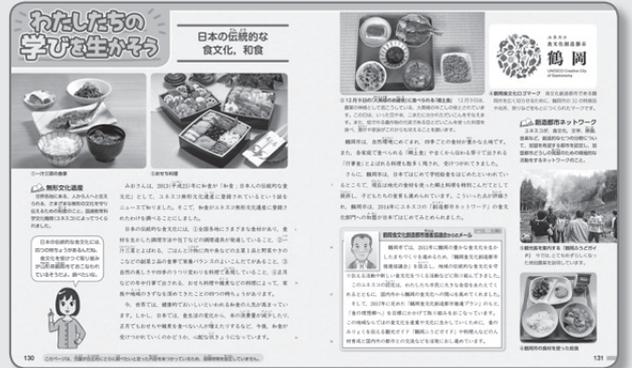
(1) 人権・福祉に関わる内容を重点的に取り上げました。



(p.124 ~ p.125)

・ 現代的課題としての少子高齢社会に対応した取り組みについては、第一次産業従事者の減少のなかでも、情報化の進展や技術革新によって生産性を向上し、高品質な農作物を作る事例を取り上げました。

(2) 伝統・文化を尊重し、郷土や国を愛する心を育む教材を充実させました。



(p.130 ~ p.131)

・ ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を取り上げ、子どもたちが我が国の歴史や文化をたいせつにし、日本人としての自覚をもつために、伝統ある食文化を実感として捉えられるように配慮しました。

(3) 防災・安全教育に関わる教材を充実させました。

・ 小単元「自然災害から人々を守る」(p.264～p.277)では、自然災害の多い日本の国土の特徴や災害による生活や産業への影響、災害防止のための取り組みを学ぶことで、国民の生命や生活を守るための国などの対策が進められていることを理解できるようにしています。

(4) 社会の持続可能な発展について考える教材を充実させました。

・ 水産物の資源管理 (p.122～p.123) や環境にやさしい自動車づくり (p.156～p.157) などを取り上げることで、持続可能な社会のあり方についての考えを深めることができる内容となっています。

2 予測困難な未来社会に向かって成長していく自分を実感できる教科書をめざしました。



(p.262 ~ p.263)

・ よりよい社会を創るために解決していかなければならない課題を把握し、それを解決するには何をどうすればよいのかを子どもたちが考え、選択・判断している場面を具体的に示しました。

・ 小単元「森林とわたしたちの暮らし」(p.262～p.263)では、豊かな自然を守るための取り組みについての自分の考えを出し合い、これまで学習した取り組みのよさや共通点、自分たちにできることは何かを話し合う活動ができるようにしています。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしました。

構成・内容		特に意を用いた点と特色	該当箇所
巻頭ページ	オリエンテーション、巻頭メッセージ、もくじ、この教科書の使い方	・巻頭ページでは、教材の配列や社会科の学び方、教科書の使い方などを子どもにわかりやすく示しました。	表2～p.5
大単元	1 日本の国土と人々の暮らし 1 世界から見た日本 2 日本の地形や気候 3 さまざまな土地の暮らし	・地球儀や地図帳や地図・グラフなどの資料を活用して調べる活動を通して、問題解決をはかり、真理を求める態度の育成をはかりました。 (第1号)	p.6～p.63
	2 わたしたちの食生活を支える食料生産 1 食生活を支える食料の産地 2 米作りのさかんな地域 3 水産業のさかんな地域	・産業に従事する人々の工夫や努力を重視し、勤労を重んずる態度を育てるよう配慮しました。 (第2号)	p.66～p.129
	3 工業生産とわたしたちの暮らし 1 暮らしや産業を支える工業生産 2 自動車工業のさかんな地域 3 日本の貿易とこれからの工業生産	・産業活動における環境への配慮を重点的に例示し、環境保全に寄与する態度を養えるようにしました。 (第4号) ・自分たちの生活が、産業活動を通して外国と深く結びついていることを知り、他国を尊重する態度を育てるようにしました。 (第5号)	p.132～p.185
	4 情報社会に生きるわたしたち 1 情報をつくり、伝える 2 情報を生かして発展する産業	・正義と責任、男女の平等と協力を重んずる態度の育成をはかりました。 (第3号) ・情報社会に内在するさまざまな問題点を調べる活動を通して、正しい情報を入手し、発信することの重要性を認識させるようにしました。 (第1号)	p.188～p.233
	5 国土の環境を守る 1 環境とわたしたちの暮らし 2 森林とわたしたちの暮らし 3 自然災害から人々を守る	・生命尊重や環境保全が持続可能な社会の実現に不可欠であることの理解を促し、国土の環境保全について、自分たちにできることを考え、実践する意欲や態度を養えるよう配慮しました。 (第4号)	p.236～p.277
特設ページ	わたしたちの学びを生かそう	・各単元の問題意識から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や、新しい教育課題に対応した教材を掲載し、創造性と自主性を養えるよう配慮しました。 (第2号)	p.64～p.65 p.130～p.131 p.186～p.187 p.234～p.235 p.278～p.279

3. 上記以外に特に意を用いた点と特色

(1) 特別支援教育への配慮

- ・一人一人の子どもが使いやすい教科書をめざして、特別支援教育の観点に配慮しました。すべての子どもたちに見やすいように、カラーユニバーサルデザインに配慮して制作しました。グラフ・地図については、色調や色の組み合わせ、斜線、ドットなどを使用するなど配慮しました。

(2) 道徳との関連

- ・国土や産業の学習で、多角的・多面的な思考と理解を通して、我が国への誇りと愛情を涵養するとともに、自他の人格の尊重や公正な態度を重視するよう示唆することで、道徳教育の推進に資するよう配慮しました。

(3) 保護者への配慮－家庭、地域との連携

- ・社会科がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にも伝わるように配慮し、学校・家庭・地域の連携を示唆しました。

(4) ICTの活用

- ・デジタルマーク  を付けた箇所では、ICTを活用して学習を効果的に進められるように、弊社ウェブページにコンテンツを用意しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-73	小学校	社 会	社 会	5 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	社会 504	小学社会 5年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

問題解決的な学習の過程が見える教科書

～どの子ども本気で学ぶ問題解決的な学習の実現～

本教科書は、子ども一人一人の素朴な問いをたいせつにしながら、学習の問題の質的な広がりや深まりを重視するとともに、集団で問題を追究していくことによって、自らの見方・考え方が高まっていく過程をわかりやすく紙面上で構造的に示すことで、子どもが主体的に学習できるように工夫しました。

学びに向かう意欲や態度、能力などをどの子どもにもつちかかっていくことができます。

(1) 学習の問題の質的な広がりや深まりがわかるように工夫しました。



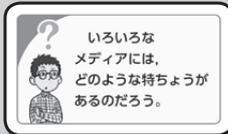
(p.190 ~ p.191)



(p.200 ~ p.201)

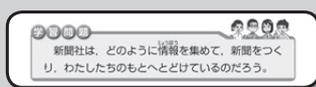
・次の三つの要素をもとに、学習が展開しています。

① わたし(たち)の問題



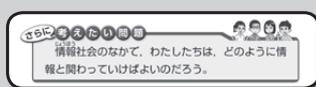
メインキャラクターの子どもが発言する見開きページでの素朴な疑問や問題です。

② 学習問題



一人一人の「わたし(たち)の問題」を話し合うなかで焦点化され、共有される、いわゆる学級全体で話し合いたい問題のことです。

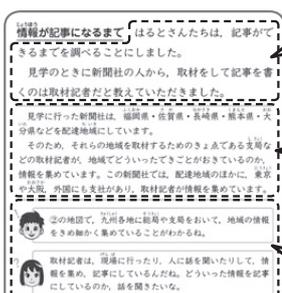
③ さらに考えたい問題



学習問題を解決した後で生まれた、学級全体でさらに話し合ったり、考えたりしたい問題のことです。

(2) 本文を読解しやすいように、学習活動・学習内容・友だちの発言の三つの役割ごとにわかりやすく示しました。

本文の役割



(p.194)

●本文 (学習活動)

どのような学習活動をするのかが書かれている文章です。授業の展開や流れをつかむことができます。

●本文 (学習内容)

写真や地図、グラフなどと同じように、疑問を解決するために必要なことが書かれている文章です。

●本文 (友だちの発言)

友だちのわかったこと(男の子)や疑問に思ったこと(女の子)が書かれている文章です。わたしの考えからわたしたちの考えへと促すようにしています。

主体的・対話的で深い学びへと導くポイントを明示し提案する教科書

～社会的事象の見方・考え方を働かせておこなう問題解決的な学習の実現～

社会的事象を調べて、考えたり，選択・判断したりするためには，社会的事象の見方・考え方を働かせることがたいせつです。その手だてを教科書紙面に明示し提案する教科書をめざしました。

- 社会的事象の見方・考え方を働かせて学習の問題を追究・解決する手だてとなる「見方・考え方コーナー」を新設しました。

見方・考え方コーナーの新設

見方・考え方 空間

北海道旭川市の位置や気候は、自分たちの住んでいるところと比べて、どのようなちがいがあろうの

(p.38)

ものごとを見たり，考えたりするときの三つの目のつけどころについて，アドバイスしています。



わたしたちの住む土地のどこに何があるのか，その広がりや大きさなどに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。



昔から未来へとたえずうつり変わる時間の流れに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。



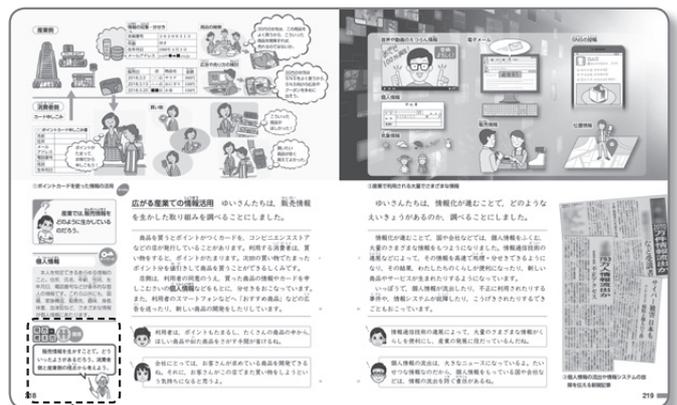
人々の取り組みやはたらき，つながりに目をつけて，ものごとを見たり，考えたりしてみよう。

「見方・考え方コーナー」では，視点を「空間」，「時間」，「関係」の三つの項目とし，それらをわかりやすくアイコンで示しました。

また，子どもたちが社会的事象について，調べ，考えるための視点や方法をこのコーナーで示すことで，これからの学習で子ども一人一人に社会的事象の見方・考え方が養われるようにしています。



(p.70 ~ p.71)



(p.218 ~ p.219)

・ p.71の「見方・考え方コーナー」では，位置や空間的な広がりに着目し，日本各地でさかんに生産される農産物が場所によってなぜちがうのかを，各地の気候や地形と関連付けて考えるように促しています。

見方・考え方 空間

なぜ，各地でさかんに生産される農産物がちがうのだろう。国土の学習で気候や地形に合わせた産業がおこなわれていたことをふり返って予想してみよう。

(p.71)

見方・考え方 関係

販売情報を生かすことで，どういったよさがあるだろう。消費者側と産業側の視点から考えよう。

(p.218)

・ p.218の「見方・考え方コーナー」では，事象や人々の相互関係に着目し，販売情報を生かすことのよさを，消費者側と産業側のそれぞれの立場から多角的に考えるように促しています。

社会科で求められる資質・能力が確実に身に付く教科書

～資質・能力を育成するためのコーナーの充実と特設ページの新設～

社会科で育む資質・能力が確実に身につくよう、さまざまな手だてを教科書紙面に明示し提案できるようにしました。

(1) 社会科の学習でたいせつな基礎的・基本的な知識や観察・資料活用力を育成するための学習技能を提示しました。

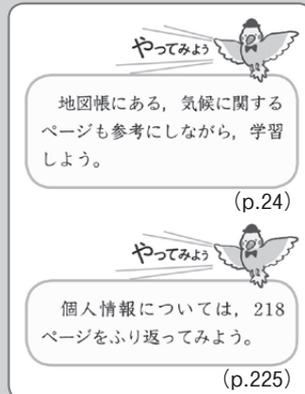
キーワードコーナーの設定



(p.85)

その単元を学ぶうえで不可欠な社会科用語を記述しています。文章だけでなくイラスト等も合わせて記載することで、視覚的にも理解が深まるように工夫しました。

「やってみよう」の設定

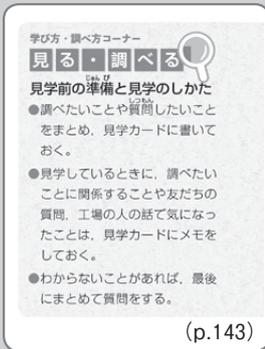


(p.24)

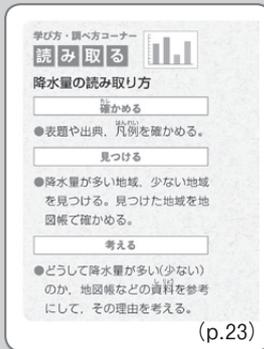
(p.225)

学習や生活の基盤となる知識をくり返し使うよう示唆したり、地図帳で調べたり、作業をしたりして、知識や学習技能の習得などを確かなものにすることができます。

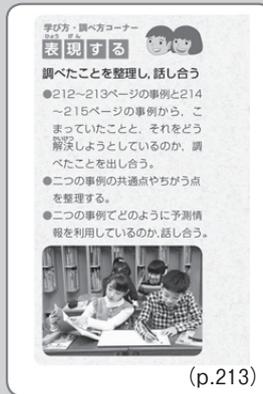
学び方・調べ方コーナーの設定



(p.143)



(p.23)



(p.213)

観察力・資料活用力や表現力の基礎・基本を確かなものにすることができます。「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の3項目のうち、「読み取る」については、「確かめる」「見つける」「考える」の三つのステップを示すことで、確かな資料活用力を身につけることができるように工夫しました。

(2) 子どもの興味・関心を追究するとともに、多様な教材を例示する「わたしたちの学びを生かそう」を新設しました。



(p.64 ~ p.65)

各単元の問題意識から、子どもたちの興味・関心を発展させた多様な教材や社会的事象の見方・考え方を働かせながら社会的意味を見出すことができる教材、新しい教育課題に対応した教材も多く掲載しています。

(教材名)

「日本の海にある資源」(p.64 ~ p.65)

「日本の伝統的な食文化、和食」

(p.130 ~ p.131)

「新しい産業の発展をめざす取り組み」

(p.186 ~ p.187)

「市と市民が協働するしくみ、『ちばレポ』」

(p.234 ~ p.235)

「電力を地産地消する取り組み」(p.278 ~ p.279)



(p.234 ~ p.235)

本教科書の特徴表

基本項目	準 拠 性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としています。 ・①広い知識・教養と豊かな人間性②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神③公正公平と公共心④自然愛護、環境保全⑤伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度と国際理解、親善の心 	
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱いをふまえて、社会的事象を適切に教材化した単元構成としています。 	
内容・系統		公 正 性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分、吟味・検証しています。 	
		正 確 性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。 	
		発 達 の 段 階 へ の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの立場からの発言や話し合い、子どものもっている力を最大限に発揮しての調べ活動や表現活動、学習内容の整理の仕方などを示唆しています。その際、人々との出会いやメディアの活用など、作業的・体験的な活動を子どもの発達の段階をふまえて位置づけています。 	
		配 列 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め、追究し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程をわかりやすいように配列しています。 ・学習対象についての情報や資料、追究過程を原則見開き2ページにまとめ、コンパクトに配分しています。 	
		学 習 意 欲 ・ 主 体 的 な 学 習 態 度 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> ・本の大きさをA判として、図版スペースを広く取るとともに、資料や本文の読み取りがしやすいようにページ構成を工夫しています。各単元の展開ページにおいては、生き生きと活動する子どもの姿や働く人々の姿を的確に捉えた写真を掲載し、子どもの共感を呼び、学習意欲を高めるように工夫しています。 ・学級を代表する6名の子どもたちが登場して、学習活動を展開しています。その登場人物の発言や活動の様子が、学習者の追究意欲を喚起するとともに、学習活動の参考となるように配慮しています。 	
		多 様 な 学 習 の 実 現	<ul style="list-style-type: none"> ・既習内容をもとに解決方法を考えたり、他者の考えを振り返り話し合ったりするなど、社会科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びをおこなう場面を積極的に取り入れています。 ・1巻(合本)構成とすることで、5年の国土・産業・環境・災害に関する学習において、相互に関係させながら学習しやすくなるなどの効果的な学習ができるようにしました。 	
		言 語 活 動 の 充 実 へ の 手 立 て	<ul style="list-style-type: none"> ・言語に関する能力を育成するために、国語科でつちかった言語に関する能力を基本に、観察や調査・見学などの体験的な学習や、話し合いの場面を充実させています。 	
	重 点 課 題		現 代 的 ・ 社 会 的 課 題 へ の 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、人権・福祉に関わる内容や防災・安全に関わる内容などの現代的、社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。
			伝 統 文 化 の 尊 重 と 国 際 理 解	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味をもたせる教材を用意しました。 ・東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した内容を取り上げることで、子どもたちの興味・関心を高めるだけでなく、国際理解・親善に関心を促すようにしています。
			社 会 の 持 続 可 能 な 発 展	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、子どもの発達の段階に応じて取り扱いました。
そ の 他		家 庭 学 習 へ の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝わるよう配慮し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。 	
		他 教 科、 道 徳、 総 合 的 な 学 習 の 時 間 等 の 関 連	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の内容項目である礼儀や公德心などと関連して、特設された「学び方・調べ方コーナー」で、他者との交流や公共の場での注意事項が具体的に示されています。また、5年の国土の学習において取り上げられている事例によっては、我が国の国土に対する理解と愛情を育て、郷土を愛する心情を涵養することが期待できます。 ・「わたしたちの学びを生かそう」では、総合的な学習への関連づけとなるような学習内容を掲載しています。また、新しい教育課題に対応した教材も多く掲載しています。 	

その他	地域教材の活用・開発	・子どもにとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	デジタル教材の活用	・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	特別支援教育への配慮	・すべての子どもが等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	判型	・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして子どもの興味・関心をひきやすくしました。
	文字・印刷・製本	・当該学年以上の配当漢字には、すべてに振り仮名をつけました。 ・文字は、子どもに読みやすいよう開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美感のあふれた外観にする予定です。 ・植物油インキを用いて印刷しました。 ・製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

教科書の単元	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
1 日本の国土と人々の暮らし	(1) ア, イ	p.6~p.63	21
大単元導入	(1) ア, イ	p.6~p.7	1
1. 世界から見た日本	(1) ア, イ	p.8~p.17	5
2. 日本の地形や気候	(1) ア, イ	p.18~p.27	5
3. さまざまな土地の暮らし	(1) ア, イ	p.28~p.37	10
[1] あたたかい沖縄県に住む人々の暮らし	(1) ア, イ	p.30~p.37	—
選択 寒い土地の暮らし—北海道旭川市—	(1) ア, イ	p.38~p.45	—
[2] 低地に住む岐阜県海津市の人々の暮らし	(1) ア, イ	p.46~p.53	—
選択 高地の暮らし—群馬県嬬恋村—	(1) ア, イ	p.56~p.63	—
2 わたしたちの食生活を支える食料生産	(2) ア, イ	p.66~p.129	26
大単元導入	(2) ア, イ	p.66~p.67	1
1. 食生活を支える食料の産地	(2) ア, イ	p.68~p.73	3
2. 米作りのさかんな地域	(2) ア, イ	p.74~p.89	7
3. 水産業のさかんな地域	(2) ア, イ	p.90~p.103	7
選択 畜産のさかんな宮崎県	(2) ア, イ	p.104~p.109	—
選択 くだもの作りのさかんな和歌山県	(2) ア, イ	p.110~p.111	—
選択 野菜作りのさかんな高知県	(2) ア, イ	p.112~p.113	—
4. これからの食料生産	(2) ア, イ	p.114~p.129	8
3 工業生産とわたしたちの暮らし	(3) ア, イ	p.132~p.185	20
大単元導入	(3) ア, イ	p.132~p.133	1
1. 暮らしや産業を支える工業生産	(3) ア, イ	p.134~p.139	3
2. 自動車工業のさかんな地域	(3) ア, イ	p.140~p.157	8
選択 わたしたちの暮らしを支える食料品工業	(3) ア, イ	p.158~p.161	—
選択 わたしたちの暮らしを支える製鉄業	(3) ア, イ	p.162~p.165	—
選択 わたしたちの暮らしを支える石油工業	(3) ア, イ	p.166~p.169	—
3. 日本の貿易とこれからの工業生産	(3) ア, イ	p.170~p.185	8
4 情報社会に生きるわたしたち	(4) ア, イ	p.188~p.233	15
大単元導入	(4) ア, イ	p.188~p.189	1
1. 情報をつくり、伝える	(4) ア, イ	p.190~p.203	7
選択 放送局のはたらき	(4) ア, イ	p.204~p.207	—
2. 情報を生かして発展する産業	(4) ア, イ	p.208~p.221	7
選択 情報を生かして発展する観光業	(4) ア, イ	p.222~p.227	—
選択 医療に生かされる情報ネットワーク	(4) ア, イ	p.228~p.233	—
5 国土の環境を守る	(5) ア, イ	p.236~p.277	18
大単元導入	(5) ア, イ	p.236~p.237	1
1. 環境とわたしたちの暮らし	(5) ア, イ	p.238~p.247	5
選択 大和川とわたしたちの暮らし	(5) ア, イ	p.248~p.251	—
2. 森林とわたしたちの暮らし	(5) ア, イ	p.252~p.263	6
3. 自然災害から人々を守る	(5) ア, イ	p.264~p.277	6
		計	100